（別紙4（2））

事業所名 グループホームうきうき

作成日： 平成　23 年　5月　9日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		○看取りの教育 高齢者100歳～90歳代の方が6名おられる他、いつ急変があってもおかしくない方々が増えられている中、御家族からの看取りの要望に備え職員教育が必要と思われる。	全員が看取りの介護ができるようにする。	①毎月の勉強会を活用し、看護師による、緊急時あわてない対応ができるよう指導、講義をする。　②職員の精神的負担軽減の為の講義をする。 ③ターミナルケアーのその方に合った過ごし方の話し合いをする。	6～12ヶ月
2		○転倒が多い 転倒リスクの高い方が9名おられます。拘束をせずもてる機能を維持し、自由に活動していただくために事故報告書やヒヤリハットの見直しが必要と思われる。	入院に繋がるような大きな事故をなくす。	①各個人のリスクマネージメントを行なう。 ②拘束を防ぐために、事故報告書をランク分けする（内容を話合う）	6ヶ月
3					月
4					月
5					月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。